

2022(令和4年)度 「修学旅行」(対象学年：2年生)

本校では令和4年12月6日(火)～9日(金)の4日間の日程で東京方面の修学旅行に行っていました。

行程は

- 1日目：クラス別研修
- 2日目：キャリアアップ研修(おもてなしセミナー&東京ディズニーランド)
- 3日目：班別自主研修
- 4日目：浅草・スカイツリー研修

です。その報告を行いたいと思います。生徒感想文も掲載していますのでご一読ください。

修学旅行1日目(12月6日(火))

つくばサイエンスツアー(数理探究科)



○初めて筑波の研究所を訪れましたが、研究所の大きさと設備がとても充実していることに驚きました。映像では初めて見たものや自分で使ったことがあるものもあって全然気づかないところにも、誰かが頑張って研究されてきたものが使われているのだということに改めて気づかされました。また元素を当てる実験では、いろいろな元素からできている物体を触ったり、重さを比べたりしましたが、意外と当てることができ楽しかったです。残念ながら金や白金などを触ることはできませんでしたが、楽しく学ぶことができよかったです。また、施設内を見学し飛行機の物質などを見ることもできました。

○初めて高エネルギー加速器研究機構を見学させていただきました。加速器研究機構の詳しい仕組みを聞き難い言葉が多くあり、理解するのが大変でした。見学に行ってみると、何もかもがとても大きな施設で圧巻でした。プラスとマイナスの電子をぶつけることにこんなにも大きな装置を使うことに驚きました。また、Belle II実験の装置は、ちょうどメンテナンス中でタイミングよく中を見ることができました。宇宙の謎、とても壮大な話で想像することさえ難しかったのですが、ここでの研究が自分たちの普通の生活に役立っていると思うと、少し身近に感じることができました。

東京都立大研修（普通科）



○東京都立大学に行って一番最初に感じたことは高校とは何もかもが異なっており、大学とはこういう場所なのだ実感したことでした。勉強をする施設や姿勢、スポーツ施設などが充実しており、集中するには最高の環境だと感じました。講義では進路のことや学部学科のことについて話をしてくださり、これから将来、進路で迷ったときには講義でもらった話を思い出していきたいと思いました。進路を決めていくうえで最も大切なことは、自分のしたいことや、魅力を感じたことをしていくことが大切だということでした。僕たちは今回の研修を通して、大学の魅力や大学入学後の理想像を描くことができたので、これからの生活を大切にしていきたいと思いました。

※東京都立大では「課題研究と大学での学び」についてもお話をいただきました。生徒のみなさんはSS探究の時間に行っている課題研究の意義を考える良い機会になったようです。

スウェーデン大使館（普通科）



○スウェーデンについて詳しく教えていただいた中でも、社会のしくみのことが印象的でした。スウェーデンは民主主義が発達しています。200年間戦争をしていないと聞いたときはとても驚きました。また、スウェーデンは福祉が充実しており、今では同性の世帯向けの介護サービスが確立されているそうです。また、バリアフリーも日本より発達しています。今の状況では過ごしにくい人々を助けようというよりは、その人たちが自立して過ごすことをサポートするために、バリアフリーがあるようです。

スウェーデンの法律や権利には興味深いものがありました。

○有名な話ではありますがスウェーデンの消費税率はとても高いそうです。しかし、子どもの医療費や学費が無償であるなど、目に見える形で国民の生活に反映されているため、不満などもさほど多いというわけではないそうです。それによって、SDGsの一つである「質の高い教育をすべての人に無償で」という目標を達成しており、SDGsの取り組みも世界トップレベルです。このように、スウェーデンには日本も真似すべきところがたくさんあり、この研修を通していつか私もスウェーデンに行ってみたく思うようになりました。

日本ユニセフ協会（普通科）



○ユニセフは、すべての子供の命と権利を守るため、支援の届きにくい子供たちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。さらに、災害・紛争が起きた地域への緊急・人道支援、女子教育の推進を含むジェンダーの平等など幅広い分野に貢献しています。特に、今回訪れたユニセフハウスでは「世界の子どもたちに出会える」展示施設が非常に魅力的であり、心に残るものでした。海の向こうで生きる子どもたちのリアルな世界を間接的に体験できる場所でもあります。世界のさまざまな環境で暮らす仲間たちと、これからどのような世界を創造していけば良いか、一緒に考えながらさまざまな国の子どもたちの一日の様子や夢、将来への希望などを肌で感じることができました。

○研修を終えた後、私たちが過ごしている「一日」は決して当たり前ではないということを改めて感じました。これからは、当たり前でない日々の中で、世界中の子どもたちの平和を願いながら、そして、私たちが今できる事は何かを考えながら強く、前向きに生きていきたいと思いました。これからの「生き方」につながる貴重な体験ができ、心から嬉しく思います。

横浜中華街での肉まん・シュウマイ作り体験&中国語講座（家政科）



○肉まんと餃子が出来上がるのを待つ間、中国出身の方から中国語を習いました。中国語は、すごく独特な発音で難しかったですが、日常会話で使うような中国語を知ることができる良い機会でも勉強にもなり楽しかったです。本場の発音を聞くことで、より中国語に近い発音を知ることができました。

○餃子の生地を寄せるときに、具が生地からあふれ出そうになって難しかったです。特に作るときに工夫したのは生地と具の間隙が空かないことです。出来上がってから作った肉まんを見ると手と変わらない肉まんの大きさにびっくりしました。みんなで肉まんを作る機会がめったにないので、楽しく教えあいながら班の雰囲気も明るくなりとても思い出になりました。

※下の写真は1日目の長崎や昼食、及びお台場での様子です。



修学旅行2日目（12月7日（水））



〇おもてなしセミナーではコミュニケーション力や主体性について私たちのキャリアにつながる話を聞き、今後の進路の参考の1つになりました。東京ディズニーリゾートでは約2万人のキャストの方が働いていて、お互いに職種が違って助け合って活動し、ショーを成功させたというキャストさんの実体験を聞きました。また、常にゲストに対してハピネスを提供し、ゲストが楽しめるようにおもてなしをしていच्छるそうです。

実際にディズニーランドに行ってみると、どのキャストさんも笑顔で親切に対応してくださいました。その笑顔ももらって私たちも自然と笑顔になりました。改めてキャストの方たちのすごさに感心しました。それぞれ考え方は違うと思いますが、働くとは・・・自分の仕事を通して他の人が笑顔になったり、幸せになったり人のためになりたいと思うことだと思えます。ディズニーリゾートのキャストの方たちはそんな思いがあるからこそゲストのことを第一に考えて働くことができるんだろうなと思えました。自分なりのひとさじを加えることで仕事（勉強）に対するとらえ方に変化が生じるそうです。何かに挑戦するには必ずリスクが伴いますが、そのリスクを恐れずに行動していきたいと思えました。



修学旅行3日目（12月8日（木））

TEPIA 先端技術館



○今回の研修では、たくさん驚いたことがありました。その中でも2つ印象に残ったことがあります。1つ目は、ロボット自身が踊ったり、歌ったりすることです。ロボットが人間にわかる言葉で話したり、みんなの知っている音楽を歌っていて、現代社会はもうかなり進んでいるなと思いました。2つ目は、TEPIAが開発したロボットを見学する時に、画面に触れずに操作できたり、人の熱で発電をしたことです。この研修を通して、プログラミングは情報の授業で習ったプログラミングばかりではなく、ロボットをプログラミングして、ロボットと遊ぶことができとても面白いものだなと思いました。

JESPA（発泡スチロール協会）

○日ごろから近くにある発泡スチロールもよく知ると不思議なことが多く、学ぶことがたくさんありました。例えば、98パーセントが空気できていたり、家の断熱材に使われていたり、身近にある発泡スチロールでも、知らないことがたくさんありました。実験を行いながらしたので、説明がとても分かりやすかったです。私たちの身の回りには、知らないことがたくさんあるんだと改めて感じることができました。これからは、身の回りにあるものを様々な角度から見ることで、新たな発見が得られるように、注目していきたいと思います。

花王ミュージアム



○私たちは、kao 本社を訪問しました。設立から135年の花王には多くの歴史があり、時代に合わせた形式の変化も見られます。時代の変化に伴って進化してきた会社だからこそ長く続いていて、私たちの生活が快適になっているのだと思いました。私たちも花王の商品を使って花王マークの月のようにピカピカになりたいです☆

東京FM

○自主研修で私たちはFM 東京を訪ねました。ラジオについての基礎知識や大変なこと、普段から意識していることなどたくさんのことを教わりました。これまでもラジオは割と聞く方だったけれど、これまで以上に教わったことを意識して聞いてみたと思いました。実際にラジオの体験もさせてもらい、最後には私たちが体験したラジオの音声をCDにして持ってきていただいたり、パンフレットや手紙まで持ってきて下さって、とても親切でした。

杉野学園衣裳博物館



杉野学園衣裳博物館では、フランスの老舗ファッションブランド「LANVIN（ランバン）」の100年近く経っているとは思えないほど美しいスタイル画を見ることができました。また、杉野学園創始者の杉野芳子さんの作品などを見ることができたり、洋裁学校の設立の歴史など、服飾についてより詳しく知ることができました。

普段勉強しているファッションデザインが、日本ではどのような形で始まって広まったかなど知ることができ、とても印象に残る機会になりました。

修学旅行4日目（12月9日（金））



○雷門の前で記念撮影でき、思い出も多く作ることができました。写真を撮る際、私たちと同じく鹿児島からの修学旅行の生徒の方が撮ってくださいました。逆に私たちも海外から来られた方から撮影をお願いされるなど、新しい体験がいくつもできました。スカイツリーでは、初めに40人収容可能なエレベーターに乗り、ノンストップで一気に350m高さの展望デッキ上まで移動しました。エレベーターには4種あるそうで、それぞれ四季のデザインが施されており、とても綺麗でした。思い出に残る最終日となりました。

最後に、修学旅行全体の感想文から

今回の修学旅行では、全てが初めての体験で刺激を受けました。人の数も多く、班の人とはぐれそうになったり、満員電車を体験するなど普段の生活では味わえない体験をした濃い4日間でした。おもてなしセミナーでは、働く上で大切なことを学びました。将来のために、今なにをすべきか、なにができるのかを明確にしたいと思います。ディズニーランドでは、ただ楽しむのではなく、キャストさんに目を向けてどのような仕事をしているのかを見ました。ゲストに楽しんでもらおうという気持ちでおもてなしをくださる全員のキャストさんのおかげもあり、よりディズニーが楽しく感じるのだと思いました。東京の街を歩いていると、長崎よりも海外の方が多く、いろんな言語が聞こえてきました。長崎にももっと多くの海外の方が来て、グローバル化が進んでほしいと思いました。そのために長崎の良さをもっと発信していけたらいいと思います。

生徒向け修学旅行事後アンケートの結果

評価項目（4段階評価）

- | | |
|------------------|----------------|
| 4 とても良かった | 3 どちらかと言えば良かった |
| 2 どちらかと言えば良くなかった | 1 良くなかった |

日	内容	評価4	評価3	評価4・3の合計
1日目	クラス別研修	77%	20%	97%
2日目	ディズニー研修	90%	8%	98%
3日目	班別自主研修	80%	16%	96%
4日目	浅草等研修	84%	13%	90%